

へふば

御利益
陸

大吉

晴きより
晴き道にぞ
入りぬべき
はるかに照らせ
山の端の月

和泉式部
拾遺和歌集

お告げ

○このみくじにあたる人は、思いもよらぬ幸運に巡り合う者なり。まさに、暗き道より出て、気づけば月の光あり。

これより上演中に演者が振る「8D66」で1回だけ、サイコロの出目を■■■に変え

へふば

御利益
伍

吉

色見えて
うつろふものは
花にぞありける
人の心の
世の中の

小野小町
古今和歌集

お告げ

○このみくじにあたる人は、悪運を幸運へと変える道を進む者なり。まさに禍福は糾える縄の如し。

これより上演中に演者が振る「8D66」で初めて●●が出たら、御利益を消費することなく、1回の振り直しをする。

へふば

御利益
肆

中吉

わが心
奥までわれが
しるべせよ
わが行く道は
われのみぞ知る
慈内　拾玉集

お告げ

○このみくじにあたる人は、神使の機嫌を良くすることを行つた者なり。神使が何に喜び、なぜ機嫌が良いのか、まさに神のみぞ知る。

神使の機嫌がすこぶる良くなる。これより上演中に神使は上機嫌となり、シラヌイに何かにつけ話しかけてくれる。